

《そう合問題5》

【例題】

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

ユミは、クラスのみんなと遠足の行き先について話し合っています。

クラスの一人が意見を言いました。

「わたしは、山の公園に行きたいです。森の中のフィールドアスレチックもあるし、広場でおべん当も食べられるし、山の中の道をたんけんできるし、楽しいと思います。」

すると、もう一人も意見を言いました。

「山の公園も楽しいと思いますが、わたしは海の公園に行きたいです。すなはまで遊んだり、海に入って泳いだりするのは楽しいです。それに、海を見ながらおべん当を食べたら、きつとおいしいと思います。」

ほかには、意見は出ませんでした。

「どちらも楽しそうなので、どっちかにするということでもいいですね。それでは多数決で決めたいと思います。紙を配りますので、海か山か、行きたいほうを書いてください。」

とユミは言って、小さな紙を配りました。

みんな、行きたい所を紙に書き始めました。すぐに決まった人もいましたが、まよっている人もいました。

やがて全員が書き終わりました。

「では、けっかを黒板に書いていきます。ケンタさんが手つだつてくれます。」

「海。山。山。海。」

ユミは紙を見て読み上げます。ケンタは黒板に「正」の字を書いて、数を記ろくしていきます。

「それでは数をたしかめましょう。海に行きたい人が十三人、山に行きたい人が十五人。行き先は山に決まりました。また今度、山の公園で何をするか、話し合いをしましょう。」

ユミがさいごにそう言って、その日のクラスの話し合いは終わりました。

行きたい所	人数
海	13
山	15

海 正正正
山 正正正

- (1) 山の公園が楽しいのはどんなところですか。
 () に当てはまる言葉を書きましょう。
 () のフィールドアスレチックや、
 () でおべん当を食べられるところ、そして、
 () でできるところ。
- (2) 海の公園で楽しいところはどんなところですか。
 () に当てはまる言葉を書きましょう。
 () で遊ぶことができたり、海に入って
 () でできたりするところ。
- (3) 遠足の行き先はどのようにして決めましたか。
- (4) ケンタは黒板に「正」の字を書いていきましたが、それは何をするためですか。
- (5) 山に行きたい人と海に行きたい人のうち、人数が多かったのはどちらですか。

【かい答】

- (1) 森の中、広場、山の中の道をたんけん
 (2) すなはま、泳いだり
 (3) 多数決
 (4) 数を記ろくするため
 (5) 山(に行きたい人)

【かいせつ】

次のように書いてあります。

- (1) 森の中のフィールドアスレチックもあるし、広場でおべん当も食べられるし、山の中の道をたんけんできるし、楽しいと思います。
- (2) すなはままで遊んだり、海に入って泳いだりするのは楽しいです。
- (3) それでは多数決で決めたいと思います。
- (4) ケンタは黒板に「正」の字を書いて、数を記ろくしていきます。
- (5) 海に行きたい人が十三人、山に行きたい人が十五人。

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

三年一組と二組の全員に、すきなくだもののアンケートをとりました。男子と女子のちがいを調べたらおもしろいと言う人もいたので、紙を配って、名前と「男・女」とすきなくだものを書いてもらいました。

きのうそれを集めたので、今日は数を数えてまとめることになりました。一組と二組が同じ教室に集まって、けっかが出るのを楽しみに待っています。

先生がみんなに言いました。

「それでは今から数えていきます。男子と女子もくらべてみましょう。ケンタさん、数えるのを手つたってください。」

ケンタは、先生が読み上げたら、それに合わせて「正」の字を書いていく係です。

数を調べて記入するとき、正の字を書いていくことは、算数で習いました。正の字は五本の線でできているので、一本ずつ線をくわえながら、数を数えます。「じゃあ、男子から数えるよ。バナナ。イチゴ。みかん。

…」

やがて数え終わりました。

「それでは、次にこれを表にまとめてみましょう。はじめに、男子と女子をべつべつに表にします。」と先生は言い、二つの表ができました。

(女子)

くだもの	人数
いちご	7
バナナ	2
なし	5
メロン	6

(男子)

くだもの	人数
いちご	3
バナナ	8
なし	5
メロン	4

「男子で人気があるのはバナナのようですね。女子はイチゴのようです。では次に、この二つの表をまとめて、男子と女子をくらべてみましょう。」

先生は、まとめた表を黒板にかきました。

「どうですか。表の見方は分かりますか。左はしにくだもの名前があります。女子の列をかくせば、さっき書いた男子の表と同じですね。男子の列をかくせば、女子の表と同じです。こんな風にして、二つの表を一つにまとめられるんですね。」

「まとめると見やすいし、くらべるにも分かりやすそ

うだなあ。」
ケンタは思いました。

男子と女子のすきなくだもの(人)

くだもの \ 男女	男子	女子
いちご	3	7
バナナ	8	2
なし	5	5
メロン	4	6

(1) ケンタはなんの係ですか。() に当てはまる言
葉を書きましょう。

先生が読み上げるのに合わせて() 係

(2) 男子でいちばん人数が多かったくだものはなんで
すか。

(3) 女子にいちばん人気がなかったくだものはなんで
すか。

(4) 女子の列をかくすと、なんの表と同じになりま
すか。

(5) 男子と女子で人数が同じだったくだものはなんで
すか。

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。
先生は、ケンタさんのクラスで調べて作った表を見ながら、話しています。

男子と女子のすきなくだもの(人)

男女 くだもの	男子	女子
いちご	3	7
バナナ	8	2
なし	5	5
メロン	4	6

「この表を見てください。男子で二番目に人気のあるくだものはなんですか。そう、なしですね。では女子ではなんですか。」
「はい。メロンです。」
「一人が答えました。」
「そのとおりです。いちごが七人でいちばん多くて、次はメロンの六人ですね。」
と先生は言いました。
次に先生が言いました。

「では、男子と女子をくらべたときに、女子のほうがすきな人の人数が多いくだものはなんでしょう。一つではありません。」
「ええっと、どうやってくらべるのかなあ。あ、そうか。」

ケンタさんは思いついたようです。

「いちごとメロンだ。合ってるかな。」

ケンタさんは正かいが知りたくなってきました。

「分かった人はいるかな。じゃあ、分かった人は手をあげてください。」

先生が言ったので、ケンタさんは手をあげました。

「ではケンタさん。答えを言ってください。」

と先生。

ケンタさんはドキドキしながら答えました。

「いちごとメロンです。」

「大正かい。」

先生が大きい声で言いました。ケンタさんは、ちょっとはずかしい気もしましたが、「やった。」と思いました。

「では、一つ一つたしかめましょう。同じくだものの左と右の人数をくらべればいいですね。上からじゅん番に、いちごは男子が三人で女子が七人、バナナは男子が八人で女子が二人、なしは男子も女子も五人、メロンは男子が四人で女子が六人です。」

先生は黒板の表を使ってせつ明してくれました。

「男子と女子の人数が同じなのは、なしだけということとも分かりましたね。」

(1) 男子で二番目に人気のあるくだものはなんですか。

(2) 女子で二番目に人気のあるくだものはなんですか。

(3) 男子と女子をくらべたとき、女子のほうが好きな数の多いくだものはなんですか。次のア～エの中から全部えらびましょう。

- ア いちご イ バナナ
ウ なし エ メロン

(4) ケンタさんは答えるときにどんな気持ちでしたか。

() に当てはまる言葉を書きましょう。

() する気持ち

(5) ケンタさんが答えたとき、先生は「大正かい。」と大きな声で言いました。このとき、ケンタさんはどんな気持ちでしたが。次のア～エの中から、本文の内ようと合うものをえらびましょう。

- ア うれしくて、自まんしたい気持ち
イ 少しはずかしいが、やったという気持ち
ウ はずかしくて顔をかな見られたくない気持ち
エ はずかしくて、悲しい気持ち

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

三年一組と二組の全員に、すきなくだもののアンケートをとりました。男子と女子のちがいも調べたらおもしろいと言う人もいたので、紙を配って、名前と「男・女」とすきなくだものを書いてもらいました。

きのうそれを集めたので、今日は数を数えてまとめることになりました。一組と二組が同じ教室に集まって、けっかが出るのを楽しみに待っています。

先生がみんなに言いました。

「それでは今から数えていきます。男子と女子もくらべてみましょう。ケンタさん、数えるのを手つたってください。」

ケンタは、先生が読み上げたら、それに合わせて「正」の字を書いていく係です。

数を調べて記入するとき、正の字を書いていくことは、算数で習いました。正の字は五本の線でできているので、一本ずつ線をくわえながら、数を数えます。

「じゃあ、男子から数えるよ。バナナ。イチゴ。みかん。

…」

やがて数え終わりました。

「それでは、次にこれを表にまとめてみましょう。はじめに、男子と女子をべつべつに表にします。」

と先生は言い、二つの表ができました。

(女子)

くだもの	人数
いちご	4
バナナ	5
なし	3
メロン	8

(男子)

くだもの	人数
いちご	4
バナナ	4
なし	7
メロン	6

「男子で人気があるのはなしのようですね。女子はメロンのようです。では次に、この二つの表をまとめて、男子と女子をくらべてみましょう。」

先生は、まとめた表を黒板にかきました。

「どうですか。表の見方は分かりますか。左はしにくだもの名前があります。女子の列をかくせば、さっき書いた男子の表と同じですね。男子の列をかくせば、女子の表と同じです。こんな風にして、二つの表を一つにまとめられるんですね。」

「まとめると見やすいし、くらべるにも分かりやすそ

うだなあ。」
ケンタは思いました。

男子と女子のすきなくだもの(人)

男女 くだもの	男子	女子
いちご	4	4
バナナ	4	5
なし	7	3
メロン	6	8

(1) ケンタはなんの係ですか。() に当てはまる言
葉を書きましょう。

() 先生が読み上げるのに合わせて「正」の字を書き、
を記ろくする係

(2) 男子でいちばん人数が多かったくだものはなんで
すか。

(3) 女子にいちばん気がなかったくだものはなんで
すか。

(4) 男子の列をかくすと、なんの表と同じになりま
すか。

(5) 男子と女子で人数が同じだったくだものはなんで
すか。

次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。
先生は、ケンタさんのクラスで調べて作った表を見ながら、話しています。

男子と女子のすきなくだもの(人)

男女 くだもの	男子	女子
いちご	4	4
バナナ	3	5
なし	7	3
メロン	6	8

「この表を見てください。男子で二番目に人気のあるくだものはなんですか。そう、メロンですね。では女子ではなんですか。」

「はい。バナナです。」

一人が答えました。

「そのとおりです。メロンが八人でいちばん多くて、次はバナナの五人ですね。」

と先生は言いました。

次に先生が言いました。

「では、男子と女子をくらべたときに、女子のほうがすきな人の人数が多いくだものはなんでしょう。一つではありません。」

「ええっと、どうやってくらべるのかなあ。あ、そうか。」

ケンタさんは思いついたようです。

「バナナとメロンだ。合ってるかな。」

ケンタさんは正かいが知りたくなってきました。

「分かった人はいるかな。じゃあ、分かった人は手をあげてください。」

先生が言ったので、ケンタさんは手をあげました。

「ではケンタさん。答えを言ってください。」

と先生。

ケンタさんは少しきんちょうしながら答えました。

「バナナとメロンです。」

「大正かい。」

先生が大きい声で言いました。ケンタさんは、ちょっとはずかしい気もしましたが、「やった。」と思いました。

「では、一つ一つたしかめましょう。同じくだものの左と右の人数をくらべればいいですね。上からじゅん番に、いちごは男子が四人で女子も四人、バナナは男子が三人で女子が五人、なしは男子が七人で女子が三人、メロンは男子が六人で女子が八人です。」

先生は黒板の表を使ってせつ明してくれました。

「男子と女子の人数が同じなのは、いちごだけということも分かりましたね。」

(1) 男子で二番目に人気のあるくだものはなんですか。

(2) 女子で二番目に人気のあるくだものはなんですか。

(3) 男子と女子をくらべたとき、女子のほうが好きな人の数が多いくだものはなんですか。次のア～エの中から全部えらびましょう。

ア いちご イ バナナ
ウ なし エ メロン

(4) ケンタさんは答えるときにどんな気持ちでしたか。

() に当てはまる言葉を書きましょう。

少し()した気持ち

(5) ケンタさんが答えたとき、先生は「大正かい。」と大きな声で言いました。このとき、ケンタさんはどんな気持ちでしたが、次のア～エの中からえらびましょう。

ア うれしくて、自まんしたい気持ち
イ はずかしくて顔を見られたくない気持ち
ウ 少しはずかしいが、やったという気持ち
エ はずかしくて、悲しい気持ち



次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。
次の表は、三年一組と二組で、好きなスポーツを調べたものです。

三年一組と二組の
好きなスポーツの人数（人）

組 スポーツ	一組	二組
野球	7	11
サッカー	10	6
バスケットボール	4	7
テニス	6	3

このような表は、いろいろなことが分かりやすくてきています。

まず、一組と二組のそれぞれの様子が分かります。たとえば一組では、サッカーが十人で、いちばん人気があります。二組では、野球が十一人でいちばんです。ぎやくに、好きな人が少ないスポーツも分かります。一組ではバスケットボールが四人でいちばん少なく、二組ではテニスが三人でいちばんです。一組と二組をくらべることもできます。テニスは一

組では六人、二組では三人なので、一組のほうが好きな人が多いことが分かります。バスケットボールはどうでしょうか。考えてみてください。
次に、一組と二組を合わせたらどうなるかを考えてみましょう。表の右と下に列を一つふやして、合計の人数も書いてみます。そうすると、次のような表ができます。

三年一組と二組の
好きなスポーツの人数（人）

組 スポーツ	一組	二組	合計
野球	7	11	18
サッカー	10	6	16
バスケットボール	4	7	11
テニス	6	3	9
合計	27	27	54

この表を見て、次のことが分かります。たしかめてください。

「一組と二組を合わせたときに、好きな人数がいちばん多いスポーツは野球です。」



「一組のクラスの人数は二十七人です。」
「調べた人数は全部で五十四人です。」
ほかにもいろいろ読み取ってみましょう。

(1) 二つの表は、だれのことを調べて作ったものですか。
() にあてはまる言葉を書きましょう。

() の人

(2) 表を作るとき、何について調べましたか。

(3) 二組でいちばん人気のあるスポーツはなんですか。
また、好きな人は何人いますか。次のア～エの中からえらびましょう。

ア サッカー、十人
イ 野球、十一人
ウ 野球、十八人
エ サッカー、二十七人

(4) 表の右と下に、列を一つふやして作ったわくに書いたものはなんですか。

(5) 一組と二組を合わせたとき、いちばん人気のあるスポーツはなんですか。



次の文章を読み、あとの問いに答えましょう。

次の表は、三年二組と四組で、すきなスポーツを調べたものです。

三年二組と四組の
すきなスポーツの人数（人）

組 スポーツ	二組	四組
野球	7	5
サッカー	9	7
バスケットボール	4	9
テニス	6	5

このような表は、いろいろなことが分かりやすくてきています。

まず、二組と四組のそれぞれの様子が分かります。たとえば二組では、サッカーが九人で、いちばん人気があります。四組では、バスケットボールが九人でいちばんです。

ぎやくに、すきな人が少ないスポーツも分かります。二組ではバスケットボールが四人でいちばん少なく、四組では野球とテニスが五人でいちばんです。

二組と四組をくらべることもできます。たとえば、野球は二組では七人、四組では五人なので、二組のほうがすきな人が多いことが分かります。バスケットボールはどうでしょうか。考えてみてください。

次に、二組と四組を合わせたらどうなるかを考えてみましょう。表の右と下に列を一つふやして、合計の人数も書いてみます。そうすると、次のような表ができます。

三年二組と四組の
すきなスポーツの人数（人）

組 スポーツ	二組	四組	合計
野球	7	5	12
サッカー	9	7	16
バスケットボール	4	9	13
テニス	6	5	11
合計	26	26	52

この表を見て、次のことが分かります。たしかめてください。

「二組と四組を合わせたときに、すきな人数がいちば



ん多いスポーツはサッカーです。」

「二組のクラスの人数は二十六人です。」

「調べた人数は全部で五十二人です。」

ほかにもいろいろ読み取ってみましょう。

(1) 二つの表は、だれのことを調べて作ったものですか。() にあてはまる言葉を書きましょう。

() の人

(2) 表を作るとき、何について調べましたか。

(3) 四組でいちばん人気のあるスポーツはなんですか。また、すきな人は何人いますか。次のア～エの中からえらびましょう。

ア バスケットボール、九人

イ バスケットボール、十三人

ウ サッカー、九人

エ サッカー、十六人

(4) 表の右と下に、列を一つふやして作ったわくには合計を書きました。右に書いたものはなんですか。次のア～エの中からすべてえらびましょう。

ア 二組の合計の人数

イ 四組の合計の人数

ウ それぞれのスポーツを好きな人の合計の人数

エ 調べた全ての人の人数

(5) 二組と四組を合わせたとき、いちばん人気のあるスポーツはなんですか。